九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

キャンパス韓国語 : ワークブック

曺, 美庚
九州大学大学院言語文化研究院言語環境学部門 : 准教授

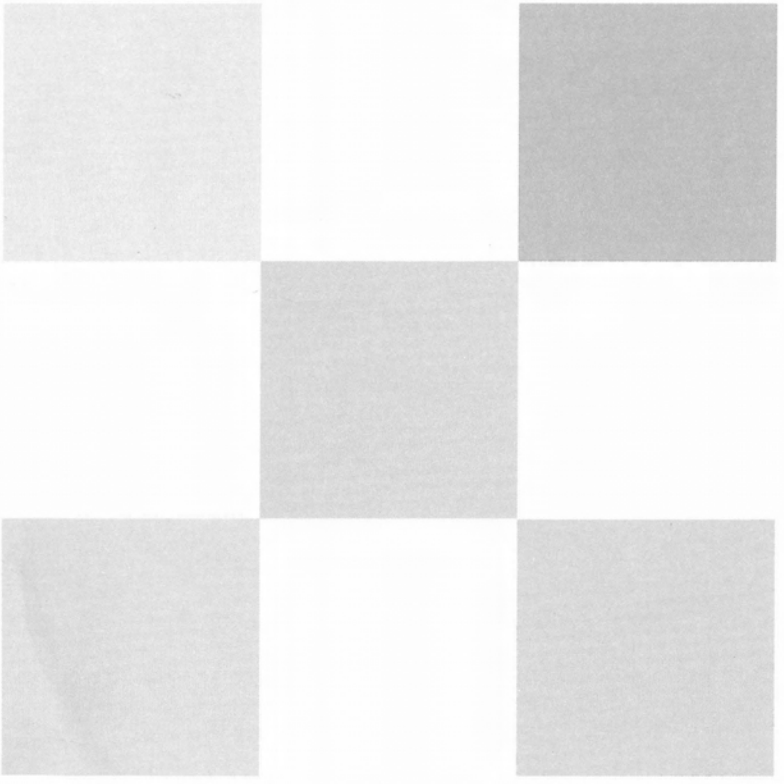
https://hdl.handle.net/2324/6049

出版情報 : 2007-04-25. 白帝社
バージョン :
権利関係 : (c)2007 白帝社

캠퍼스 한국어

キャンパス韓国語
ワークブック

曺美庚・李希娅 著



白帝社

Introduction

まえがき

近年、韓流ブームの影響により電車や空港の案内表示、飲食店の看板、TVコマーシャルなど、街のいたるところでハングル文字を見かけるようになりました。一角では、韓国食ランチやお茶、エステ、韓国語の会話がちょっとしたお洒落にもなりました。ランチと買い物で昼間の数時間だけを韓国で楽しむ日帰りプチ旅行が盛況のようです。さらに、円安とウォン高を背景に、韓国からの観光客が大勢日本を訪れています。韓国語を学ぶとしたら今がチャンスといえるでしょう。日韓が互いに興味を持って接近しているということは、互いを理解し合いながら受け入れ、共存共栄を志向するための基盤ができあがってきたということを意味するのではないでしょうか。このような時期に、『キャンパス韓国語』と『キャンパス韓国語ワークブック』を出版することができ、著者としては誠に喜ばしい限りです。数多くの韓国語教材の中でも、本書は、とりわけ大学のキャンパスで韓国語を学んでいる学習者を想定しつつ、コミュニケーション能力の向上と文法の基礎固めの両方に力を注いでいます。韓国語教育は、ともすると流暢性か正確性のいずれかに偏りがちですが、大学における著者らの長年のティーチング経験をベースに、バランスの取れた本格的な大学テキストとして仕上げました。

本書は全22課で、週2回の通年授業を想定した構成となっています。第1課～第4課までは、文字や発音を無理なく学習できるよう、イラストや書く練習のコーナーをたくさん設けました。前期は第11課までをカバーし、文法の基本柱を学習できるように編集しました。後期は第12課～第22課までとなっており、大学生活や日韓文化の相違を随時取り上げることで、異文化理解を促すよう心掛けました。そういった意味では、大学における韓国語テキストとして最適の書であると考えられます。各課は、[포인트 표현 ポイント表現]、[Dialogue 本文会話]、[문법 文法]、[연습 練習]、[말하기 話す]、[듣기 聞く]から構成されています。

포인트 표현　ポイント表現

各課の学習目標表現として、「ポイント表現」を示しました。

Dialogue　本文会話

大学生活や日韓文化の相違を随時取り上げ、異文化理解を促すとともに、「発音規則」のコーナーも設け、重要な発音の規則が身につくようにしました。「表現及び単語」のコーナーでは、「単語原形＋接続語尾」を提示することで今後の学習の参考になるようにしました。

문　법　文　法

各課で使用されている3～4個の文法事項について、例を示しながらわかりやすく解説してい

ます。「文法」説明部分と「練習問題」を併用することで、学生の参加や理解度が高まり、大きな学習効果が期待できます。

연　습　練　習

文法事項や文型を熟知させることが狙いです。この項目では、特に[会話形式]を採用することで、楽しく効率よく文型表現が身につき、自然に意思疎通ができるように工夫を凝らしました。

말하기　話す

教室内での多様なインタラクティブな活動を通じて、各課における学習の習熟度をチェックするとともに、コミュニケーション能力の向上を図ります。二人一組のロールプレイが基本となっています。

듣　기　聞く

各課の学習の終わりに、さまざまなシチュエーションを想定したリスニング・パートを設け、聴き取り能力の向上を図りました。

さらに、別冊のワークブックとセットで学習すれば、一層高い学習効果が期待できます。

キャンパス韓国語ワークブック

テキスト『キャンパス韓国語』に完全対応したワークブックです。各課は、「①主題別語彙練習」、「②重要な文型練習」、「③重要な文法練習」、「④作文練習」から構成されています。週2回授業ならテキストとのセット利用がお勧めで、週1回の授業なら宿題や自学自習の補助教材としても活用できます。イラストや会話形式を多用することで、学習の楽しさアップとコミュニケーション能力の向上を目指しています。

本書は、日本国内で出版されたこれまでの韓国語教材には見られない（あるいは稀に見る）４つのユニークな特徴を備えています。第1に、イラスト・ベースの学習をモットーにしているため、本文中に出てくるイラストの数が圧倒的に多いこと。第2に、文型練習が会話形式でできているため、教室を出てすぐに文型が使えること。第3に、「読む」「書く」「話す」「聴く」の４ジャンルがすべて盛り込まれ、統合的な学習を志向していること。第4に、テキストに完全対応したワークブックが用意されていること、などです。これらの特徴を十分に生かすことで、本書が読者の皆さんの韓国語学習に大いに役立つことをお祈りします。

最後に、本書が出来上がるまで物心両面から支援を惜しまず、著者らのわがままを幾度となく受け入れて下さった白帝社の伊佐順子氏に心より感謝申し上げます。

九州大学六本松の研究室にて
曺　美庚
李　希妊

Contents

목 차 目次

제1과 모음 1 母音1 1

제2과 자음 1 子音1 6

제3과 자음 2 / 모음 2 子音2/母音2 12

제4과 받침과 발음 규칙 パッチム(終声)と発音規則 18

제5과 저는 우에다입니다. 私は上田です。 26

제6과 지수씨, 공부합니까? チスさん、勉強しますか。 31

제7과 학교에 기숙사가 있습니까? 学校に寮がありますか。 37

제8과 오후에 뭐 해요? 午後、何をしますか。 43

제9과 토요일에 뭐 했어요? 土曜日に何をしましたか。 49

제10과 이 바지 얼마예요? このズボンいくらですか。 56

제11과 아르바이트는 몇 시부터예요? アルバイトは何時からですか。 63

제12과 사진 보여 주세요. 写真見せてください。 68

제13과 김치찌개를 먹고 싶어요. キムチチゲが食べたいです。 73

제14과 김치찌개가 생각보다 맵네요. キムチチゲが思ったより辛いですね。 79

제15과 약은 드셨어요? 薬はお飲みになりましたか。 86

제16과 축제 때 뭐 할 거예요? 大学祭のとき何をするつもりですか。 92

제17과 테니스를 칠 수 있어요? テニスができますか。 101

제18과 소개팅을 한 적이 있어요? 合コンをしたことがありますか。 109

제19과 어머니께 선물하려고 해요. お母さんにプレゼントしようと思っています。 115

제20과 길 좀 가르쳐 주시겠어요? 道を教えていただけますか。 120

제21과 떡국은 숟가락으로 먹어야 해요. トックはスプーンで食べなければなりません。 126

제22과 한국 문화를 체험하고 싶은데요. 韓国の文化を体験したいのですが。 133